

令和7年度 特別展

江戸時代に華^{あが}ひらいた福岡のやきもの

～ そのやきものは、まだ誰も知らない物語を秘めている ～

会 期：令和7年10月11日(土)～12月7日(日)

会 場：九州歴史資料館 1階 第1展示室

「福岡のやきもの」と聞いて思い浮かべるのはどんなやきものでしょうか？高取焼、小石原焼、上野焼などを挙げる方が多くいらっしゃるでしょう。江戸時代、福岡県は豊前、筑前、筑後の三つの地域に分かれ、実に100か所以上でやきものが焼かれていたといわれています。今回の展示では、福岡を代表する選りすぐりのやきもの111件を展示いたします。それぞれを見ると、個性豊かであったり、芸術性が高いものであったり、使いやすそうなものであったりと多くの発見があると思います。そして、何よりやきものの奥深さと面白さを存分に堪能できる本展覧会へ！ぜひ展示室でその感動を味わってください。



藁灰釉緑彩水指 銘「若葉雨」高取焼（筑前）
17世紀前半 （財）田中丸コレクション蔵



藁灰釉割山椒向付 上野焼（豊前）
17世紀前半 福岡市美術館蔵



御本立鶴写茶碗 柳原焼（筑後）
19世紀 福岡県立美術館蔵

《企画展》「江戸時代の福岡の窯道具」

会 期：令和7年10月7日(火)～12月27日(土) 会 場：九州歴史資料館 1階 第2展示室

福岡県では、江戸時代に筑前の「高取焼」や「小石原焼」、豊前の「上野焼」でやきものが焼かれ始めます。筑後でも「蒲池焼」、その後は久留米藩・柳河藩による藩窯を経て、様々な民窯でやきものが焼かれました。

従来、そのような窯跡では、出土した製品が主に注目されますが、今回の展示ではそのわき役でもある、窯跡で使われた窯道具に光を当て、江戸時代にどのように変化をしていったのかを味わっていただければと思います。

令和7年度下半期の展示

企画展「齋藤秋圃 -その人となりと人物描写の魅力-」

令和 8年 1月16日(金)～3月15日(日) 第 1 展示室(中世コーナー以後)

さいとうしゅうほ 齋藤秋圃(1772～1859)は、上方に生まれ、長じて、すぐれた画技をもった帮間として大阪新町で人の知るところとなり、文化2年(1805)には秋月藩のお抱え絵師になるという異例の転身を見せて、そして文政11年(1828)に隠居してからは、太宰府に住んで町絵師として人気を博した人物です。福岡県の近世絵画を考える上では、福岡藩お抱え絵師である尾形家の絵師たちと並んで重要な位置を占めています。



十二ヶ月風俗図絵巻(九州歴史資料館蔵)部分(十一月)

秋圃は明治期以降も人気を集め、多くの贋作まで作られて、それはむしろ真作を遥かに凌駕する量で、彼の真の姿を窺い難くしています。また、鹿描きの秋圃の呼称もある通り、鹿の絵が多くのかさかされていますが、作品を見ていると、秋圃は人物を得意とし、周囲の理解者もそれにこそ惹きつけられて



十二ヶ月風俗図絵巻(九州歴史資料館蔵)部分(七月)

いた様子が窺えます。今回の企画展は屏風作品を中心に秋圃の人物画を集めて展示し、彼の人となりと人物描写の魅力を体感していただこうとするものです。そしてひいては、彼の真の姿に近づくための足掛かりを築くことができればと思っています。

九歴名品探訪

Vol.19

お お と しんくつず ならびにりゃくき

大門神窟図 并 略記

け や おおと ちゅうじょうせつり
糸島半島の西の先端、芥屋の海中に、「芥屋の大門」と呼ばれる巨大な岩塊が存在します。玄武岩の柱状節理が大規模に露頭したもので、北側は海蝕によって大きな岩窟になっています。六角形の石柱が規則的に連なる黒々とした岩肌と、奥行90mという窟内に逆巻く暗い潮の様子は、古くから奇観として知られてきました(国指定天然記念物)。

この絵図は、その芥屋の大門を描いたもので、明治32年(1899)に発行されました。北東の海中から大門を眺めており、半島から海に突き出す岩塊の全容や、無数の柱を連ねたような岩の様子が描かれ、遊覧する見学船も確認できます。画面の向かって左端には脊振山系の浮嶽(うきたけ)(糸島市二丈)、右端には壱岐島の描写が見えます。芥屋の大門を中心に、魚眼レンズのように広域が描き出されています。



『X線CTによるDXが博物館と子どもたちを結ぶ』

博物館では、コロナ禍や令和5年に博物館法が改正されたことにより、展示や調査におけるデジタル技術の応用、資料のデジタル化が進むなか、今、社会で浸透するデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現が注目されています。

各地の博物館でもさまざまな取り組みが試みられていますが、ここでは、当館におけるDX実現の取り組みとして、X線CTによる3Dデジタルデータを活用した出前授業の事例を紹介します。

題して「VR出前授業 -今日の授業、古墳の中に入ります-」は、令和2年度に制作した、古賀市船原古墳の石室に入室したり、豪華な遺物を発掘できるVRコンテンツと、実物の土器ハンズオンや土器パズルを使った復元体験ができる、仮想と現実を組み合わせた授業で、当館の教育普及班が企画しました。この授業は、博物館には実際、目の前に資料があり、人がいることを重要視しつつ、体験活動を通して、文化財の魅力や価値、保存・継承の意義を見出し、自分の言葉で表現ができるようにすることを主眼にしています。対象は小学生～高校生で、学校にお伺いして実施しています。授業の最後には、本時の振り返りとして体験してみた感想、良かったこと、遺跡に対するイメージ、VRにどのような可能性があるかなどをグループ討議してもらいます。

討議後の感想には、普段では不可能な体験ができた、古墳のことが理解できた、といった内容の他に、VRなどのデジタル技術には、普段、勉強している数学の原理や法則が使われていることを知り、それが実際の社会で役に立っていることがわかった、といった内容が含まれていました。どうも数学があまり得意でなく、勉強する意義を見出しにくかったようです。博物館での学びは、これまで歴史的な内容ばかりでしたが、デジタル技術と合わせたことで、博物館と子どもたちとの間に、文系と理系が融合した新しい結びつきを提供することができました。

こうした、科学技術を文化財に応用したリアルな体験は「学びのSTEAM化」につながり、教科学習の範囲を超えて、子どもたち自身が「問い」を持ち、探究心による学びの主体性の向上等が期待できます。

X線CTによるDXは、博物館の学びの変革につながるものと考えられます。文化財サイエンス・ラボでは、その基礎になるX線CTをはじめとするデジタル技術を利用した調査研究を今後も進め、博物館と子どもたちを結びつけていきたいと思っています。

※STEAM: Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念。



VRで使われている船原古墳の3Dデータ



船原古墳を発掘するVRの画面



VRコンテンツの体験例

文化財パネル展 会場：2階 文化情報広場

登録10周年！世界遺産「明治日本の産業革命遺産」令和7年9月23日(火・祝)～12月14日(日)

「世界遺産『神宿る島』宗像沖ノ島と関連遺産群」令和7年12月16日(火)～令和8年3月1日(日)

福岡県内にある二つの世界遺産「明治日本の産業革命遺産」と「『神宿る島』宗像沖ノ島と関連遺産群」の魅力をそれぞれ写真パネルにて紹介します。

筑紫地区文化財写真展「色のパレット～筑紫の歴史(とき)を彩る文化財～」令和8年3月3日(火)～3月15日(日)

赤・青・黄色。筑紫地区に伝わる様々な文化財を“色”に注目して紹介します。

九州歴史資料館・分館行事予定

【令和7年10月～令和8年3月】

九歴だより 令和七年十月(第六十二号)

編集発行 九州歴史資料館

九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	常 設 展:12月20日(土)～3月31日(火)「歴史(とき)の宝宝箱」 特 別 展:10月11日(土)～12月7日(日)「江戸時代に華ひらいた福岡のやきもの」 企 画 展:10月7日(火)～12月27日(土)「江戸時代の福岡の窯道具」 1月16日(金)～3月15日(日)「齋藤秋圃-その人となりと人物描写の魅力-」 特集展示:7月23日(水)～10月5日(日)「木簡入門」 1月6日(火)～3月8日(日)「仏像入門」 パネル展:9月23日(火・祝)～12月14日(日)登録10周年!世界遺産「明治日本の産業革命遺産」 12月16日(火)～3月1日(日)「世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」 3月3日(火)～3月15日(日)筑紫地区文化財写真展『色のパレット～筑紫の歴史を彩る文化財～』
古代体験	毎週日曜日、九歴ボランティアによる「古代体験」を実施(予約不要、有料・無料体験有)
ミュージアムトーク &バックヤードツアー	毎週日曜日、14時からバックヤードツアー(予約不要 無料) 15時からミュージアムトーク(予約不要 第1・3展示室開催の場合は有料)を実施
講座・イベント	九歴講座:毎月第2土曜日 定員160名 全席指定席(要事前申し込み) 講 演 会:11月2日(日)特別展開催記念講演会「大名茶人と高取焼・上野焼」梶山博史(大阪市立東洋陶磁美術館) 2月7日(土)企画展開催記念講演会「齋藤家伝来文書に見る秋圃とその周辺」木村純也(太宰府市教育委員会) タベのギャラリートーク:10月31日(金)特別展「イッピン紹介」(遠藤啓介) 11月28日(金)特別展「須恵焼について」(山下啓之・須恵町教育委員会) 12月19日(金)企画展「窯道具からわかる福岡のやきもの」(坂本真一) 1月30日(金)企画展「齋藤秋圃-その人となりと人物描写の魅力-」(井形進) イ ベ ント:10月 5日(日)綿の摘み取り体験・機織り体験 10月26日(日)特別展開催記念茶会 11月 1日(土)ミュージアムナイト 11月 9日(日)アクロス・ミュージックキャラバン in 九州歴史資料館 11月15日(土)文化財めぐり「小石原周遊。手びねり体験あり!」 11月23日(日)古代体験まつり
発掘調査	県内遺跡発掘調査
求菩提資料館	常設展:「求菩提修験道の世界」 企画展:10月18日(土)～11月30日(日)秋の企画展「昭和の時代」 1月31日(土)～3月22日(日)早春企画展「第19回 おひなまつり」 市民歴史講座:10月18日(土)「松尾山医王寺の山内構造」 11月22日(土)「求菩提山と豊前修験道」 史跡ガイド活動:申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします。
甘木歴史資料館	常設展:朝倉の歴史・考古(縄文時代～近世) 朝倉の歴史・民俗(近世以降の農業、信仰、伝統産業、昔の暮らし) 特集展:「八郎様・石祠・椿説弓張月～源為朝を巡る歴史の矢を放つ試み～」 10月26日(日)～11月23日(日)「朝倉高校史学部パネル展」 10月26日(日)「研究発表会」※要申込 10月3日(金)申込開始 自主展示会:10月1日(水)～3月31日(火)「朝倉復興支援あさくら杉おさがりにぼし展」 11月30日(日)～12月21日(日)「第35回 秋酔アート展」 イベント:3月29日(日)「さくらコンサート」
柳川古文書館	企画展:10月1日(水)～11月30日(日)「野田演吉が撮った沖端」 12月3日(水)～2月1日(日)「写真機がのこした柳川」 2月5日(木)～3月31日(火)「松井家・立石家のおひな様」 講座:古文書解説講座(初級編・中級編・応用編)毎月1回(第4日曜日) 歴史文化講演会:1月12日(月)「映像でたどる柳川」(会場は柳川市民文化会館) 市史歴史講座:11月8日(土)「写真で見る昭和30年代の沖端」(白石直樹)



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢5208-3

TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834 URL <https://kyureki.jp/>

ホームページ



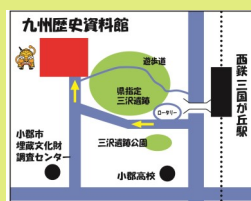
X



YouTube

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
 観 覧 料 一般210(150)円 大学生・高校生150(100)円
 満65歳以上・中学生以下・
 障がいのある方(同伴介護者1名)無料
 ※土曜日は高校生も無料
 ※()内は団体料金(20名以上)

休 館 日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
 年末年始(12月28日～1月4日)



●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から約700m

《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分

●自動車

《九州自動車道》筑紫野I.C.から約15分

《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号・県道88号線経由で約15分

《福岡都市高速》水城出口から国道3号経由で約25分

